



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社
 コード番号 9880 URL <https://www.innotech.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 信行
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長兼財務経理部長 (氏名) 奥津 明洋 TEL 045-474-9000
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	19,763	4.8	1,261	△24.9	1,528	△21.7	923	△34.4
2022年3月期第2四半期	18,863	26.3	1,681	268.2	1,952	226.0	1,406	383.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,774百万円 (△5.7%) 2022年3月期第2四半期 1,882百万円 (774.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	70.39	68.58
2022年3月期第2四半期	108.89	104.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	45,691	24,500	51.5
2022年3月期	40,541	23,167	54.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 23,546百万円 2022年3月期 22,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2023年3月期	—	35.00			
2023年3月期（予想）			—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	7.4	2,500	△3.3	2,800	△6.2	1,750	△20.3	133.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2022年11月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	13,700,000株	2022年3月期	13,700,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	563,318株	2022年3月期	591,818株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	13,114,879株	2022年3月期2Q	12,917,530株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」に係る信託E口が保有する当社株式(2023年3月期2Q 42,000株、2022年3月期2Q 一株)が含まれております。また、信託E口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年3月期2Q 9,869株、2022年3月期2Q 一株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2022年11月11日に機関投資家向けの四半期決算説明会をWEBでのライブ配信にて開催する予定です。なお、当日使用する四半期決算補足説明資料は決算発表後、また、その説明内容については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴い社会経済活動の正常化が進み、個人消費や設備投資の回復などにより景気に持ち直しの動きがみられたものの、ウクライナ情勢や急激な円安の進行等を背景とした資源価格の高騰や物価高の影響に加え、部材供給難の長期化など、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、自社製テストシステムや決済端末の販売が概ね堅調に推移したものの、研究開発への注力や事業拡大に伴う人員増などが影響したことから、売上高19,763百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益1,261百万円（同24.9%減）、経常利益1,528百万円（同21.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益923百万円（同34.4%減）となりました。

報告セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

[テストソリューション事業]

テストソリューション事業は、半導体メモリー市場等の顧客を中心に当社グループのエンジニアリング力を活かし、高付加価値製品の提供に注力するとともに、顧客ニーズに対応した製品の開発、新規市場の開拓に積極的に取り組んでまいりました。当事業においては、半導体不足に伴う一部部材の長納期化や価格高騰の影響を受けましたが、設計変更による代替部品への切り替えや新規調達先開拓などの対応により影響の最小化に努めてまいりました。自社製テストシステムは、メモリー向けテスターは海外向けの減少などにより前年同期実績には及ばなかったものの、国内向けや新製品の販売が堅調に推移いたしました。台湾のSTAr Technologies, Inc. は、信頼性試験装置の需要が堅調に推移したものの、プローブカード販売の伸び悩みや部材調達難、研究開発への注力や事業拡大に伴う人員増などにより収益性は低下しました。

その結果、当事業の売上高は7,771百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益は750百万円（同33.9%減）となりました。

[半導体設計関連事業]

半導体設計関連事業は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により社会経済活動の正常化が進むなか、インターネット等の活用に加え、対面での営業活動を再開し、売上拡大及び収益の安定化に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用（EDA）ソフトウェアは、新規顧客への販売が増加したほか、既存顧客からの受注が伸長したことなどにより増収となりました。株式会社モーデックのシミュレーションモデル製品販売や設計支援サービスも半導体や自動車関連向けを中心に概ね堅調に推移いたしました。一方、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、国内における主力顧客の需要が概ね堅調に推移したものの、中国におけるオフショア事業がロックダウンの影響を受けたことなどにより、前年同期実績には及びませんでした。

その結果、当事業の売上高は6,749百万円（前年同期比12.1%増）、セグメント利益は327百万円（同5.9%減）となりました。

[システム・サービス事業]

システム・サービス事業は、当社グループのエンジニアリング力を活かし、特徴ある製品の開発やサービスの提供に注力してまいりました。当事業においても、半導体不足やサプライチェーンの混乱等による一部部材の長納期化や価格の高騰が続いておりますが、先行手配や新規調達先開拓、代替部品への変更などの対応により影響の最小化に努め、また、引き続き感染防止対策を徹底した上で展示会へ出展するなど積極的な営業活動を行ってまいりました。自社製CPUボードやBOX型コンピューターなどの組込み製品は、社会インフラや産業機械向けなどを中心とした需要の高まりを受け増収となりました。アイティアアクセス株式会社は、社会経済活動の正常化などに伴い決済端末の需要が回復したことに加え、クラウド決済サービスの収益も貢献し増収となりました。一方、ガイオ・テクノロジー株式会社は、自動車関連の需要が本格的な回復に至らないなか、車載向け組込みソフト検証ツール販売は堅調に推移したものの、エンジニアリングサービスが伸び悩み前年同期実績には及びませんでした。株式会社レグラスは、AIカメラシステムの量産販売が低迷したことに加え、受託開発もプロジェクトの遅れなどにより伸び悩み、大幅な減収となりました。

その結果、当事業の売上高は5,243百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は557百万円（同8.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は45,691百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,150百万円増加いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産や仕掛品、原材料が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は21,190百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,816百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金や支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものであります。

純資産は24,500百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,333百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定や利益剰余金が増加したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は51.5%となり、前連結会計年度末に比べ3.3ポイント減少いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2022年11月10日付で別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,664,498	6,179,106
受取手形、売掛金及び契約資産	8,826,491	12,262,351
商品及び製品	3,491,775	3,588,515
仕掛品	1,229,036	1,767,471
原材料	1,380,964	1,896,483
その他	1,602,755	2,086,233
貸倒引当金	△5,790	△5,734
流動資産合計	23,189,730	27,774,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,562,810	8,725,351
減価償却累計額	△5,078,938	△5,209,134
建物及び構築物 (純額)	3,483,872	3,516,217
土地	5,832,882	5,832,882
その他	3,840,409	4,654,891
減価償却累計額	△2,315,036	△2,627,758
その他 (純額)	1,525,373	2,027,132
有形固定資産合計	10,842,129	11,376,232
無形固定資産		
のれん	1,212,345	1,164,108
その他	1,211,707	1,276,701
無形固定資産合計	2,424,053	2,440,810
投資その他の資産		
投資有価証券	1,771,486	1,875,299
その他	2,313,828	2,224,920
投資その他の資産合計	4,085,315	4,100,220
固定資産合計	17,351,497	17,917,263
資産合計	40,541,227	45,691,691

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,333,841	2,821,087
短期借入金	5,169,227	6,802,715
1年内償還予定の社債	—	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	480,016	480,016
未払法人税等	542,083	673,966
賞与引当金	303,804	560,679
役員賞与引当金	2,160	33,526
その他	4,781,105	6,165,568
流動負債合計	13,612,239	18,737,558
固定負債		
社債	2,200,000	1,000,000
長期借入金	753,296	513,288
役員退職慰労引当金	155,362	164,820
退職給付に係る負債	267,859	306,027
その他	385,234	469,151
固定負債合計	3,761,751	2,453,287
負債合計	17,373,991	21,190,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	4,228,916	4,241,989
利益剰余金	7,950,878	8,415,251
自己株式	△681,517	△656,486
株主資本合計	22,015,436	22,517,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,744	74,846
繰延ヘッジ損益	△93,248	18,267
為替換算調整勘定	233,787	941,712
退職給付に係る調整累計額	△7,886	△6,289
その他の包括利益累計額合計	198,397	1,028,536
新株予約権	128,849	128,849
非支配株主持分	824,552	825,545
純資産合計	23,167,236	24,500,845
負債純資産合計	40,541,227	45,691,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	18,863,432	19,763,849
売上原価	12,994,931	13,547,663
売上総利益	5,868,500	6,216,185
販売費及び一般管理費	4,187,480	4,954,468
営業利益	1,681,020	1,261,717
営業外収益		
不動産賃貸料	231,972	225,669
為替差益	73,777	276,873
その他	183,936	45,803
営業外収益合計	489,685	548,346
営業外費用		
不動産賃貸費用	163,968	164,071
その他	54,199	117,920
営業外費用合計	218,167	281,992
経常利益	1,952,538	1,528,071
特別利益		
補助金収入	57,994	—
その他	7,810	—
特別利益合計	65,804	—
特別損失		
固定資産圧縮損	57,760	—
特別損失合計	57,760	—
税金等調整前四半期純利益	1,960,582	1,528,071
法人税等	521,574	606,979
四半期純利益	1,439,008	921,091
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	32,402	△2,067
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,406,606	923,159

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,439,008	921,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,855	9,101
繰延ヘッジ損益	17,946	111,515
為替換算調整勘定	408,392	731,525
退職給付に係る調整額	214	1,596
その他の包括利益合計	443,409	853,740
四半期包括利益	1,882,418	1,774,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,835,000	1,753,298
非支配株主に係る四半期包括利益	47,417	21,533

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,960,582	1,528,071
減価償却費	519,432	601,603
のれん償却額	114,268	118,863
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△159	△55
賞与引当金の増減額 (△は減少)	237,442	233,698
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△4,735	17,724
受取利息及び受取配当金	△11,449	△9,095
為替差損益 (△は益)	7,863	△219,058
投資事業組合運用損益 (△は益)	7,237	32,884
持分法による投資損益 (△は益)	△1,903	—
固定資産圧縮損	57,760	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△894,679	△3,138,188
棚卸資産及び前渡金の増減額 (△は増加)	△964,068	△1,332,949
仕入債務の増減額 (△は減少)	198,415	389,226
前受金の増減額 (△は減少)	1,687,543	1,832,860
その他	△662,595	△182,011
小計	2,250,954	△126,425
利息及び配当金の受取額	12,825	8,579
利息の支払額	△15,800	△20,836
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△613,457	△562,498
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,634,522	△701,180
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△120	△120
定期預金の払戻による収入	17,130	—
有形固定資産の取得による支出	△404,191	△691,848
無形固定資産の取得による支出	△305,673	△265,879
長期前払費用の取得による支出	△74,064	△61,112
投資有価証券の取得による支出	△60	△50,060
投資事業組合からの分配による収入	204,477	106,462
保険積立金の積立による支出	△54,535	△39,023
保険積立金の解約による収入	95,016	185,734
事業譲受による支出	△45,000	—
その他	△5,416	△1,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△572,435	△817,662
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△33,063	1,456,508
長期借入金の返済による支出	△281,682	△240,008
配当金の支払額	△379,926	△458,310
非支配株主への配当金の支払額	△23,313	△44,833
その他	15,860	△885
財務活動によるキャッシュ・フロー	△702,125	712,470
現金及び現金同等物に係る換算差額	132,232	294,433
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	492,193	△511,940
現金及び現金同等物の期首残高	5,432,804	6,480,661
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,924,998	5,968,721

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリュ ーション事業	半導体 設計関連事業	システム・ サービス事業	計		
売上高						
テスター	4,552,593	—	—	4,552,593	—	4,552,593
STAr Technologies	3,136,509	—	—	3,136,509	—	3,136,509
EDA他	—	4,031,258	—	4,031,258	—	4,031,258
三栄ハイテックス	—	1,848,066	—	1,848,066	—	1,848,066
モーデック	—	141,317	—	141,317	—	141,317
組込みシステム他	—	—	994,449	994,449	—	994,449
アイティアアクセス	—	—	2,126,602	2,126,602	—	2,126,602
ガイオ・テクノロジー	—	—	1,633,331	1,633,331	—	1,633,331
レグラス	—	—	399,304	399,304	—	399,304
顧客との契約から生 じる収益	7,689,102	6,020,641	5,153,688	18,863,432	—	18,863,432
外部顧客への売上高	7,689,102	6,020,641	5,153,688	18,863,432	—	18,863,432
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,912	9,684	20,596	△20,596	—
計	7,689,102	6,031,554	5,163,372	18,884,029	△20,596	18,863,432
セグメント利益	1,136,180	347,426	608,809	2,092,416	△411,395	1,681,020

(注) 1. セグメント利益の調整額△411,395千円には、セグメント間取引消去3,888千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△405,693千円及び棚卸資産の調整額△9,590千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリュー ーション事業	半導体 設計関連事業	システム・ サービス事業	計		
売上高						
テスター	4,046,987	—	—	4,046,987	—	4,046,987
STAr Technologies	3,724,040	—	—	3,724,040	—	3,724,040
EDA他	—	4,668,094	—	4,668,094	—	4,668,094
三栄ハイテックス	—	1,929,109	—	1,929,109	—	1,929,109
モーデック	—	152,175	—	152,175	—	152,175
組込みシステム他	—	—	1,080,536	1,080,536	—	1,080,536
アイティアアクセス	—	—	2,349,407	2,349,407	—	2,349,407
ガイオ・テクノロジー	—	—	1,640,451	1,640,451	—	1,640,451
レグラス	—	—	173,045	173,045	—	173,045
顧客との契約から生 じる収益	7,771,028	6,749,379	5,243,441	19,763,849	—	19,763,849
外部顧客への売上高	7,771,028	6,749,379	5,243,441	19,763,849	—	19,763,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	29	5,616	5,667	△5,667	—
計	7,771,049	6,749,408	5,249,057	19,769,516	△5,667	19,763,849
セグメント利益	750,997	327,060	557,656	1,635,714	△373,996	1,261,717

(注) 1. セグメント利益の調整額△373,996千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△375,763千円及び棚卸資産の調整額1,767千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、(セグメント情報)に記載のとおりであります。